



よう太のワーク 「人か名か」

おじさん図鑑 「人か名か 人数『名』で数えた方がよい」

モノには数えるための数詞というのがある。例えば、馬は頭（人が乗ると騎）、田は枚、短歌は首などなど。もう使わなくなった数詞も多い。その中で、人間を数える言葉は、人または名ということになる。

作家の沖方丁（うぶかた・とう）さんがラジオで、「人の数え方で1名、2名という＜名＞は、人の名前のことで、千名というのは千の名前を持つ個々の人々が存在する意味だ」という話をして聞いたのを聞いた。おじさんは我が意を得た思いだった。

災害のニュースなどで、「死傷者の数が５０００人」と報道される。これは人間を束にくくり、数値化した伝え方で、個々の名前が消えてしまっている。なぜ５０００名ではないのか、とおじさんは前々から違和感を抱いていたのだ。

新聞の表記の原則も、人数を表す場合は、「人」で数え「名」は使わない、とある。

事故や災害、戦争などで亡くなった人は、みなそれぞれの名前を持っていて、多様な生活を営んでいた。「〇〇人」でくくらず、名を持った個々人を敬する意味で「〇〇名」と数えた方がよいのではないかな。もっといえば、「〇〇命」と字を替えてもいい。

(飛鳥圭介・エッセイスト)

／掲載日：2014年11月9日／紙面：山陽新聞朝刊／掲載：29ページ

●記事からさがそう。

①馬、田、短歌はそれぞれどう数えるの？

・馬… () ・田… () ・短歌… ()

②「自分の考えとぴったりに合う」という意味の慣用句は？

- ()

③飛鳥圭介さんは、数詞の「名」、「人」について、それぞれどういう考えやイメージを持っているの？

・「名」…

• 「人」...

④飛鳥圭介さんの主張は？

・ _____月 _____日 _____年 _____組 _____番 名前 _____

解答例

①馬、田、短歌はそれぞれどう数えるの？

・馬… (頭 (騎)) ・田… (枚) ・短歌… (首)

②「自分の考えとぴったり合う」という意味の慣用句は？

・ (わが意を得た (り))

③飛鳥圭介さんは、数詞の「名」、「人」について、それぞれどういう考えやイメージを持っているの？

・「名」…名前のこと。名前を持つ個々の人々 (をさす)。名を持った個々人 (をさす)。

・「人」…人間を束にくくり、数値化した (もの)。

④飛鳥圭介さんの主張は？

(事故や災害、戦争などで亡くなった人は、名を持った個々人を敬する意味で「〇〇名」と数えた方がよいのではないか。)

(「〇〇命」と字を替えてもいい。)

(人数『名』で数えた方がよい)